



2017年2月24日発行 NO.3

「社会保障の解体は許さない！憲法を守りいかす社会をつくらう！！」

STOP! 介護改悪 介護ウェーブ2017推進ニュース

-介護の“Big Wave”を広げよう！-

2月22日 国会院内集会 & 議員要請行動



2月22日、全日本民医連と中央社保協、全労連の三者合同で、「負担増・給付減の介護保険『見直し』反対！実効ある処遇改善を求める2・22国会院内集会」をおこないました。参加者は68名（民医連関係者8 県連27名）、「2017年度介護保険制度の見直しと介護人材の処遇改善」と題して全日本民医連林泰則次長を講師に学習会を開催し、各組織・各地の実

態や運動を交流しました。集会ではこれまで集めてきた「介護保険の見直しに対する請願署名」14万7226人分の署名を請願署名の紹介議員に了承いただいた民進党阿部知子衆院議員・郡和子衆院議員・水戸将史衆院議員・川田龍平参院議員、日本共産党高橋千鶴子衆院議員・堀内照文衆院議員・倉林明子参院議員に託し国会に提出しました。

参加者から

民医連参加者からは長野県民医連事務局の川北邦雄さんが代表して発言しました。「長野民医連で、生活保護の実態調査を行った。生活保護を受けるきっかけとなった出来事で8人が介護のための離職と答えている。介護の体制も厳しく、事業所を休止せざるを得ないところも出ている。こうした集会にヘルパーも来てもらいたいのだが、体制が厳しく困難」と、実情を語ってくださいました。

生協労連から参加したヘルパーの方は、「14年間で上がった時給は120円。月の勤務時間が12月は51時間だったのに1月は36時間だった。安定した収入が得られず、やりがいだけでは続かない現状がある。同じ会社の別の事業所では人が集まらず閉鎖した。労務倒産への不安がある。」と胸の内を明かしました。



（長野・川北さん）



集会のまとめと行動提起では、介護を充実させれば経済もよくなるという視点も持ち、介護現場が大変だというネガティブキャンペーンに陥らないよう、専門職として介護の魅力ややりがいを同時に伝えていくといったアピールが大切だと提起しました。273の地方議会において「生活援助サービスと福祉用具貸与等の給付継続についての意見書」が採択されていることや、全国市長会では介護保険制度に関する重点提言をおこ

なっていることもあり、地方自治体とも運動を進める上で連携を図っていきましょう。

全、全、全国からの署名は190,229筆！

みなさんに取り組んでいただいた署名は目標の15万筆を大幅に超える190,229筆（2月23日現在）が集まりました。目標達成したのは35県連です。この署名は2月の国会行動をもちまして締め切り、すべて国会議員に託しました。また「次期介護保険の見直しに向けたアンケート」は1126件、「利用者・家族のひとことカード」1247件が全国から届き、全日本民医連事務局では分析作業をおこなっています。これ以降に集まったものは各県連で自治体の懇談などでご活用ください。ご協力ありがとうございました。

県連名	目標(目安)	実績	達成率	県連名	目標(目安)	実績	達成率
北海道	4,000	8,411	210.3%	滋賀	500	1,516	303.2%
青森	2,500	3,653	146.1%	京都	7,000	8,607	123.0%
岩手	1,800	2,591	143.9%	大阪	13,000	14,495	111.5%
宮城	3,000	7,743	258.1%	兵庫	6,000	6,340	105.7%
秋田	500	1,443	288.6%	奈良	3,000	4,303	143.4%
山形	6,000	8,815	146.9%	和歌山	1,500	1,915	127.7%
福島	2,500	143	5.7%	鳥取	1,800	2,123	117.9%
茨城	1,000	805	80.5%	島根	1,500	1,740	116.0%
栃木	500	55	11.0%	岡山	6,000	5,134	85.6%
群馬	3,500	2,250	64.3%	広島	2,000	7,654	382.7%
埼玉	7,000	7,178	102.5%	山口	1,000	980	98.0%
千葉	3,500	1,603	45.8%	徳島	1,100	1,734	157.6%
東京	13,000	18,102	139.2%	香川	1,500	1,607	107.1%
神奈川	6,500	7,454	114.7%	愛媛	2,500	4,449	178.0%
新潟	1,300	2,294	176.5%	高知	2,000	3,107	155.4%
富山	1,500	116	7.7%	福岡・佐賀	8,500	11,497	135.3%
石川	2,000	1,485	74.3%	長崎	2,000	2,747	137.4%
福井	2,500	2,506	100.2%	熊本	1,500	942	62.8%
山梨	3,000	4,023	134.1%	大分	500	420	84.0%
長野	6,500	3,495	53.8%	宮崎	1,500	1,711	114.1%
岐阜	3,000	4,533	151.1%	鹿児島	2,000	4,308	215.4%
静岡	2,000	5,472	273.6%	沖縄	1,500	2,453	163.5%
愛知	3,500	3,858	110.2%	全日本	500	590	118.0%
三重	1,000	1,829	182.9%	合計	150,000	190,229	126.8%



利用者・家族が直接、制度改善を求めて 金沢市と懇談しました

（石川県・社会福祉法人やすらぎ福祉会 藤巻圭介さんからの便り）

2月10日（金）、金沢市に対して、介護保険制度改定（改悪）による現場の実態を訴え、国への抜本的な改善を求める要望を行いました。当日は、特養ホーム待機者家族会とやすらぎ福祉会、特養の家族会など17名が参加しました。やすらぎ福祉会として作成した「介護酷書パート3」も活用し訴えました。デイサービスの利用者さん（要支援2、独居）も参加され、「今はどうにか生活しているが、最近は転倒も多く、内服もたくさんで、一人で居るときに大きな不安がある。デイやヘルパーが使えなくなると夜も眠れない。今日はデイの皆に励まされてきた。」と市の総合事業への不安を率直に語られました。職員の確保についても独自の対策を求めました。市側は「全国市長会を通じて訴えている。今後も自治体からも皆さんからの声を届けていきたい。」とコメントしました。要望の様子は地元ニュースや新聞でも紹介されました。



市の担当者

「介護サービスをどれくらい確保する必要があるか
現場の声を聞き判断したい」

お問い合わせは「介護ウェブ推進本部」事務局：小又・東

TEL：03-5842-6451 / FAX：03-5842-6460 E-mail：min-kaigo@min-iren.gr.jp